

# 留学報告書: 2021年一月

2016年からスタンフォード大学の経済学部に進学しました澁谷陽子と申します。多くの奨学生の方も書いておりますが、2020年は学会や学内セミナーがキャンセルになり経済学部でも研究のスタイルが大きく変わりました。以前は指導教官と週に一度対面でのミーティングをしていたのが全てZoomに変わり、Teaching Assistantの仕事も全てオンラインでTA section (補助授業)や採点を行いました。

個人的には留学してから初めて日本に一年で一度も帰国せずに過ごし、カリフォルニアが特に影響の大きかった地域であったことも相まってほとんど外出をしない一年となりましたが、生活スタイルを見直す良いきっかけになりました。研究面では、外出の誘惑がなくなったおかげで博士論文や他のいくつかのプロジェクトに関わり通常より効率的に仕事をすることが出来ました。サンフランシスコ・ベイエリアの家賃が下がり、良い物件に引っ越すことも出来ました。6年間と比較的長い経済学の博士課程ですが、最終版に差し掛かっています。後悔の残らないように、研究面でも生活面でも留学生生活を満喫したいと思います。

船井奨学金の関係者の皆様、いつもサポートしてくださり本当にありがとうございます。船井奨学金のおかげで留学生生活を送れていることに感謝しながら研究に励みます。

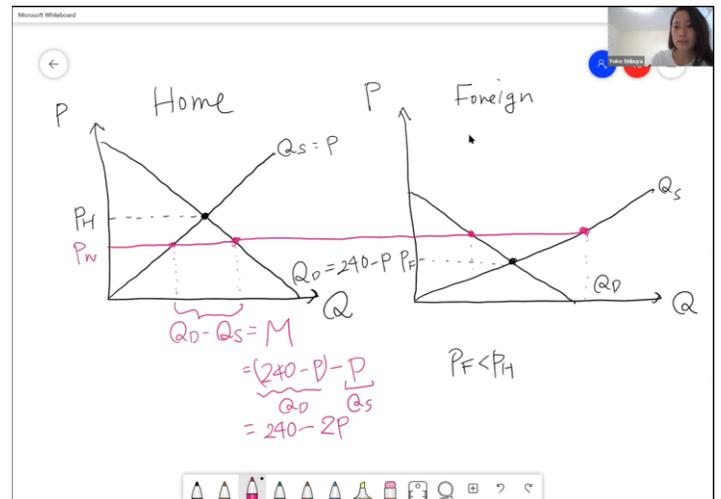


写真:家のクリスマスツリー(生のモミの木を初めて買いました!)とオンラインでのTAセッションの様子(学部の国際貿易の授業)。

